

平成24年度 財政状況資料集

総括表(市町村)

都道府県名	兵庫県		市町村類型	- 0		指定団体等の指定状況		区分		平成24年度(千円)	平成23年度(千円)	区分		平成24年度(千円・%)	平成23年度(千円・%)		
						財政健全化等	×	歳入総額	27,562,380	26,570,783	実質収支比率	4.6	5.0				
市町村名	南あわじ市		地方交付税種地	1-1		財源超過	×	歳出総額	26,682,878	25,372,001	経常収支比率	85.0	84.2	(91.2)	(90.2)		
						首都	×	歳入歳出差引	879,502	1,198,782	(1)						
						近畿		翌年度に繰越すべき財源	116,512	350,745	標準財政規模	16,678,566	16,812,737				
								実質収支	762,990	848,037	財政力指数	0.44	0.45				
人口	22年国調(人)	49,834	産業構造 (5)			中部	×	単年度収支	-85,047	130,828	公債費負担比率	21.9	21.5				
	17年国調(人)	52,283				過疎	×	積立金	619,810	356,830	健全化判断比率						
	増減率 (%)	-4.7				山振		繰上償還金	275,500	270,791	実質赤字比率	-	-				
住民基本台帳人口 (7)	25.03.31(人)	50,609	区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率	-	-				
	うち日本人(人)	50,400		第1次	6,802	7,508	指数表選定		実質単年度収支	810,263	758,449	実質公債費比率	14.9	16.1			
	24.03.31(人)	51,017	第2次	25.5	25.6			基準財政収入額	5,170,631	5,367,061	資金不足比率 (4)	149.4	158.7				
	うち日本人(人)	51,017		第3次	6,468	7,775			基準財政需要額	12,131,718	12,219,642						
	増減率 (%)	-0.8		24.2	26.5			標準税収入額等	6,635,169	6,896,927							
	うち日本人(%)	-1.2		13,444	14,030			経常経費充当一般財源等	14,236,597	14,286,930							
面積 (km ²)	229.23			50.3	47.8			歳入一般財源等	18,843,311	19,351,951							
人口密度 (人/km ²)	217							地方債現在高	36,796,779	37,436,121							
世帯数 (世帯)	16,981							うち公的資金	24,819,330	25,032,867							
職員の状況																	
特別職等	区分	定数	1人あたり平均 給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数 (人)	給料月額 (百円)	1人あたり平均 給料月額(百円)	地方債現在高	36,796,779	37,436,121						
	市区町村長	1	7,650		一般職員	452	1,446,400	3,200	債務負担行為額(支出予定額)	1,979,298	2,059,816						
	副市区町村長	1	6,460		うち消防職員	-	-	-	収益事業収入	-	-						
	教育長	1	5,700		うち技能労務職員	25	74,225	2,969	土地開発基金現在高	500,000	500,000						
	議会議長	1	4,500		教育公務員	12	45,872	3,823	積立金現在高	1,920,208	1,300,398						
	議会副議長	1	3,780		臨時職員	-	-	-	減債基金	524,073	440,396						
	議会議員	18	3,465		合計	464	1,492,272	3,216	その他特定目的基金	5,941,886	6,024,719						
						ラスバイレス指数(6)		105.2	(97.2)								
	一般会計等の一覧																
項番	会計名	事業会計の一覧				公営企業(法適)の一覧				公営企業(法非適)の一覧				関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧	
(1) 一般会計		(4) 国民健康保険特別会計(保険事業勘定)	(11) 国民宿舍事業会計	(13) 慶野松原海水浴場特別会計	(15) 兵庫県市町村職員退職手当組合	(25) 南あわじ産業振興協会											
(2) 産業廃棄物最終処分事業特別会計		(5) 国民健康保険特別会計(直営診療所勘定)	(12) 下水道事業会計	(14) 土地開発事業特別会計	(16) 兵庫県市町交通災害共済組合	(26) 西淡まちづくり											
(3) ケーブルテレビ事業特別会計		(6) 後期高齢者医療特別会計			(17) 兵庫県町議会公務員公費補償組合	(27) 南淡路農業公園											
		(7) 介護保険特別会計(保険事業勘定)			(18) 兵庫県後期高齢者医療連合組合(一般会計)	(28) 南淡風力エネルギー開発											
		(8) 介護保険特別会計(サービス事業勘定)			(19) 兵庫県後期高齢者医療連合組合(特別会計)	(29) 淡路人形協会											
		(9) 訪問看護事業特別会計			(20) 淡路広域行政事務組合(一般会計)												
		(10) 農業共済事業会計			(21) 淡路広域行政事務組合(淡路食肉センター事業特別会計)												
					(22) 淡路広域水道企業団(水道事業会計:企業団)												
					(23) 淡路広域水道企業団(水道事業会計:南あわじ市SC)												
					(24) 洲本市・南あわじ市衛生事務組合(一般会計)												

(注釈) 1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 3: 地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に 印を付与している。
 4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 6: ラスバイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。
 7: 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)					歳出の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
地方税	5,720,320	20.8	5,720,320	36.7	普通税	5,676,469	99.2	-	議会費	229,114	0.9	-	229,114	
地方譲与税	306,881	1.1	306,881	2.0	法定普通税	5,676,469	99.2	-	総務費	3,581,234	13.4	79,864	2,640,211	
利子割交付金	15,343	0.1	15,343	0.1	市町村民税	2,104,426	36.8	-	民生費	6,165,463	23.1	36,471	3,520,295	
配当割交付金	15,557	0.1	15,557	0.1	個人均等割	68,023	1.2	-	衛生費	1,668,347	6.3	136,894	1,243,452	
株式等譲渡所得割交付金	3,562	0.0	3,562	0.0	所得割	1,726,884	30.2	-	労働費	90,973	0.3	-	10,385	
地方消費税交付金	469,916	1.7	469,916	3.0	法人均等割	113,436	2.0	-	農林水産業費	1,643,822	6.2	706,170	706,364	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	法人税割	196,083	3.4	-	商工費	688,884	2.6	49,416	339,052	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	3,058,084	53.5	-	土木費	3,188,575	11.9	1,048,712	2,555,971	
自動車取得税交付金	110,703	0.4	110,703	0.7	うち純固定資産税	3,048,480	53.3	-	消防費	952,127	3.6	70,642	817,002	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	165,841	2.9	-	教育費	3,383,028	12.7	1,544,938	1,734,454	
地方特例交付金	16,852	0.1	16,852	0.1	市町村たばこ税	348,118	6.1	-	災害復旧費	738,939	2.8	-	43,484	
地方交付税	9,976,991	36.2	8,889,007	57.0	鉱産税	-	-	-	公債費	4,352,372	16.3	-	4,124,630	
普通交付税	8,889,007	32.3	8,889,007	57.0	特別土地保有税	-	-	-	諸支出費	-	-	-	-	
特別交付税	1,087,978	3.9	-	-	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	
震災復興特別交付税	6	0.0	-	-	目的税	43,851	0.8	-	歳出合計	26,682,878	100.0	3,673,107	17,964,414	
(一般財源計)	16,636,125	60.4	15,548,141	99.6	法定目的税	43,851	0.8	-						
交通安全対策特別交付金	11,266	0.0	11,266	0.1	入湯税	43,851	0.8	-						
分担金・負担金	187,643	0.7	-	-	事業所税	-	-	-						
使用料	800,119	2.9	39,788	0.3	都市計画税	-	-	-						
手数料	310,052	1.1	1,531	0.0	水利地益税等	-	-	-						
国庫支出金	1,866,095	6.8	-	-	法定外目的税	-	-	-						
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-						
都道府県支出金	2,265,988	8.2	-	-	合計	5,720,320	100.0	-						
財産収入	158,354	0.6	-	-										
寄附金	11,933	0.0	-	-										
繰入金	505,824	1.8	-	-										
繰越金	1,198,782	4.3	-	-										
諸収入	519,899	1.9	2,983	0.0										
地方債	3,090,300	11.2	-	-										
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-										
うち臨時財政対策債	1,154,300	4.2	-	-										
歳入合計	27,562,380	100.0	15,603,709	100.0										

区分	平成24年度	平成23年度
徴収率(%)	97.6	89.0
現年計	98.0	91.4
市町村民税	97.1	86.0
純固定資産税		

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	4,463,834	実質収支	331,605
下水道	1,799,300	再差引収支	-125,914
上水道	360,329	加入世帯数(世帯)	8,570
宅地造成	345,387	被保険者数(人)	16,326
と畜場	28,576	被保険者	100
国民健康保険	399,909	1人当り	97
その他	1,530,333	保険税(料)収入額	253
		国庫支出金	97
		保険給付費	253

区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	11,449,870	42.9	8,749,311	8,323,711	49.7
人件費	3,989,361	15.0	3,470,235	3,323,859	19.8
うち職員給	2,505,589	9.4	2,056,412	-	-
扶助費	3,108,139	11.6	1,154,448	1,150,724	6.9
公債費	4,352,370	16.3	4,124,628	3,849,128	23.0
元利償還金	4,352,370	16.3	4,124,628	3,849,128	23.0
内 うち元金	3,729,642	14.0	3,518,202	3,242,702	19.4
内 うち利子	622,728	2.3	606,426	606,426	3.6
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	10,820,962	40.6	8,207,030	5,912,886	35.3
物件費	2,932,523	11.0	1,862,778	1,599,936	9.5
維持補修費	224,141	0.8	90,873	87,098	0.5
補助費等	4,332,704	16.2	3,870,186	2,767,944	16.5
うち一部事務組合負担金	928,116	3.5	837,368	740,138	4.4
繰出金	2,234,285	8.4	1,682,005	1,457,908	8.7
積立金	1,094,109	4.1	701,188	-	-
投資・出資金・貸付金	3,200	0.0	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	4,412,046	16.5	1,008,073	-	-
うち人件費	91,294	0.3	76,894	-	-
普通建設事業費	3,673,107	13.8	964,589	-	-
うち補助	1,127,211	4.2	316,421	-	-
うち単独	2,367,457	8.9	617,436	-	-
災害復旧事業費	738,939	2.8	43,484	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	26,682,878	100.0	17,964,414	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	27,050	26,263	787	670		36,728	
2 産業廃棄物最終処分事業特別会計	198	124	74	74		69	
3 ケーブルテレビ事業特別会計	436	418	18	18	27		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	50,609	人(H25.3.31現在)	実質赤字比率	-	%	
うち日本	50,400	人(H25.3.31現在)	実質赤字率	-	%	
面積	229.23	km ²	実質公債費比率	14.9	%	
総額	27,562,380	千円	将来負担比率	149.4	%	
入	26,682,878	千円	市町村類型	H20 - 0	H21 - 0	H22 - 0
出	762,990	千円	(年度毎)	H23 - 0	H24 - 0	
標準財政規模	16,676,566	千円				
地方債現在高	36,796,779	千円				



市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と呼ぶ。平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づき(実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。)

充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

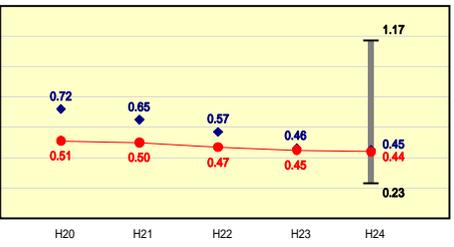
「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。

財政力

財政力指数 [0.44]

類似団体内順位 28/62 全国平均 0.49 兵庫県平均 0.60



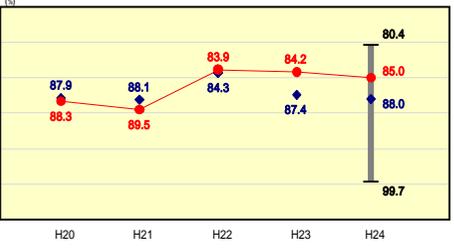
財政力指数の分析

財政力指数においては、類似団体平均程度となった。今後も少子高齢化や人口流出、景気の低迷等を助長すると税収の増加は見込むことができず、数値を改善させるためには歳出削減を図ることが最も重要である。このため「第2次南あわじ市行政改革前期実施計画(以下、「前期実施計画」という。)」及び「南あわじ市行政改革前期実施計画(以下、「前期実施計画」という。)」に基づき、定員管理、給与等の適正化、補助金の整理統合、内部管理経費の見直し等を引き続き徹底するとともに、合わせて歳入確保のため地方税の徴収強化や使用料・手数料の見直し等についても努めていく。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [85.0%]

類似団体内順位 11/62 全国平均 90.7 兵庫県平均 90.9



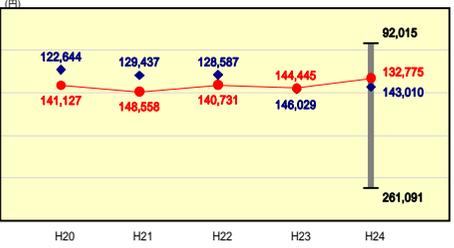
経常収支比率の分析

経常収支比率は、前年度と比較すると0.8ポイント悪化している。これは経常経費が約142億円でほぼ横ばいであった一方で、地方税収が2.7億円減少したことが要因となっている。今後も「前期実施計画」及び「財政計画」に基づく義務的経費の削減、特に地方債の発行抑制や繰上償還による公債費の軽減に努め、更なる改善を目指す。また経常経費で大きな割合を占めている下水道事業補助金については、今後も増大する恐れがあるが、整備計画を精査することによって建設事業費を抑制するとともに使用料の見直し、施設管理経費削減のための委託業務等の見直しにより、効果的な管理体制の構築に取り組んでいく。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [132,775円]

類似団体内順位 26/62 全国平均 116,454 兵庫県平均 109,501



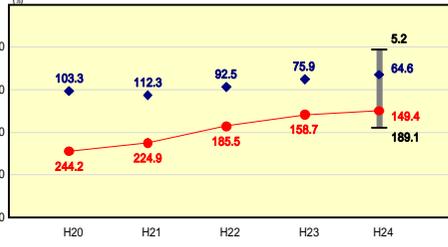
人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析

前年度と比較するとやや改善している。要因としては、定員管理の前倒しによる職員数削減や物件費における平成23年度に実施したプレミアム付地域振興券分の減が挙げられる。ただし、住民基本台帳人口は減少傾向にあり、平成20年から平成24年にかけて4.4%の減となっている。今後も人件費における定員管理・給与等の適正化や物件費における内部管理経費の見直し等による歳出削減を引き続き徹底していく必要がある。

将来負担の状況

将来負担比率 [149.4%]

類似団体内順位 57/62 全国平均 60.0 兵庫県平均 93.9



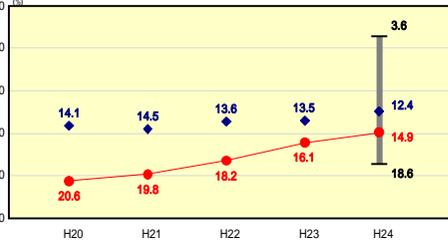
将来負担比率の分析

前年度と比較して9.3ポイント改善しているが、依然、類似団体平均と比較すると悪い水準となっている。大きな要因は、合併前から実施してきた生活基盤整備のために発行した地方債による影響と、供用開始から年数が経過しておらず、接続率が芳しくないことにより使用料収入が少なく赤字補てんの繰上償還が多額となっている下水道事業による影響である。しかし新たな地方債の発行を抑制し、計画的に繰上償還を実施したこと等により比率は4年連続して改善傾向にあり、財政計画においても今後も比率は改善していく傾向となっている。今後も財政計画に基づき地方債の発行抑制や繰上償還、下水道事業の経営健全化に努めることで後年度の負担軽減に取り組んでいく。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [14.9%]

類似団体内順位 45/62 全国平均 9.2 兵庫県平均 11.2



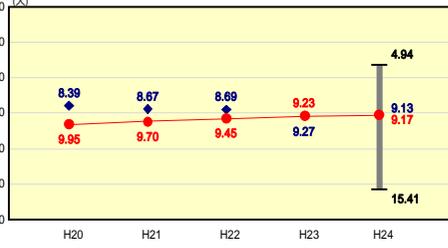
実質公債費比率の分析

下水道事業など過去の大型事業による地方債の元利償還が多額となり、前年度より1.2ポイント改善したものの類似団体平均と比較すると、依然、悪い状況となっている。しかし財政計画に基づき(地方債の発行抑制や定期的な繰上償還の実施により、平成20年度決算をピークに改善に転じており、今後もさらに改善すると見込んでいる。また地方債の発行許可が必要となる18%については平成23年度に下回り、平成24年度には地方債発行協議が不要となる16%を下回ることができた。今後はこの数値を維持、もしくはさらに改善できるよう引き続き「財政計画」に基づき取り組みを続けていく。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [9.17人]

類似団体内順位 33/62 全国平均 7.00 兵庫県平均 6.71



人口千人当たり職員数の分析

「南あわじ市定員適正化計画」に基づき、新規採用者を退職者の1/2以内に抑制してきたことにより、平成17年4月1日現在で661人であった職員数は、平成25年4月1日現在で527人となり134人減少しているが、引き続き計画による適正な定員管理に努め、平成30年4月1日における職員数を500人以内とするよう、取り組みを継続していく。類似団体平均との比較においては、同程度の数値となっている。

給与水準(国との比較)

ラスパイレス指数 [105.2]

類似団体内順位 37/62 全国市平均 106.6 全国町村平均 103.2



ラスパイレス指数の分析

類似団体平均よりやや悪い数値となっている。ただし、平成23年度以降の国の7.8%の給与カットによりラスパイレス指数が100を超えた状況になっている。給料表及び管理職手当等の見直し、55歳昇給抑制等の取り組みを過去に実施を継続し、今後も適正な人事配置と行政効率の高い組織づくりを進めていくことで、一層の給与適正化に努めていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成24年度

兵庫県南あわじ市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	3,989,361	78,827	82,186	4.1
賃金(物件費)	416,569	8,231	6,368	29.3
一部事務組合負担金(補助費等)	536,579	10,602	7,866	34.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,355	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	89,614	1,771	3,659	51.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	91,294	1,804	1,683	7.2
退職金	517,690	10,229	9,915	3.2
合計	4,605,727	91,006	93,203	2.4

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.17	9.13	0.04
ラスパイレス指数	105.2	104.8	0.4

(注) 住民基本台帳法の改正により、平成25年3月31日現在の住民基本台帳登録人口については、外国人住民を含む。(公債費及び普通建設事業費についても同様)

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

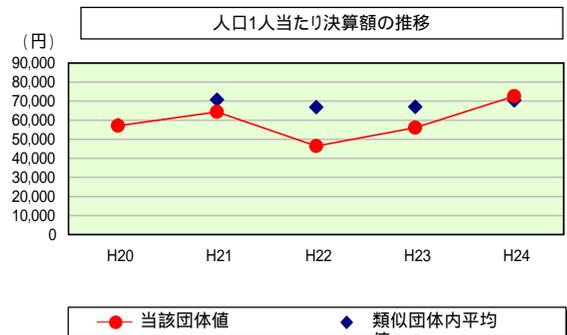


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	4,076,869	80,556	60,741	32.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	6	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,246,581	24,632	18,219	35.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	365,960	7,231	4,082	77.1
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	13,477	266	2,715	90.2
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	6	0	8	100.0
特定財源の額	227,742	4,500	3,930	14.5
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	3,581,161	70,761	52,214	35.5
合計	1,893,990	37,424	29,627	26.3

平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

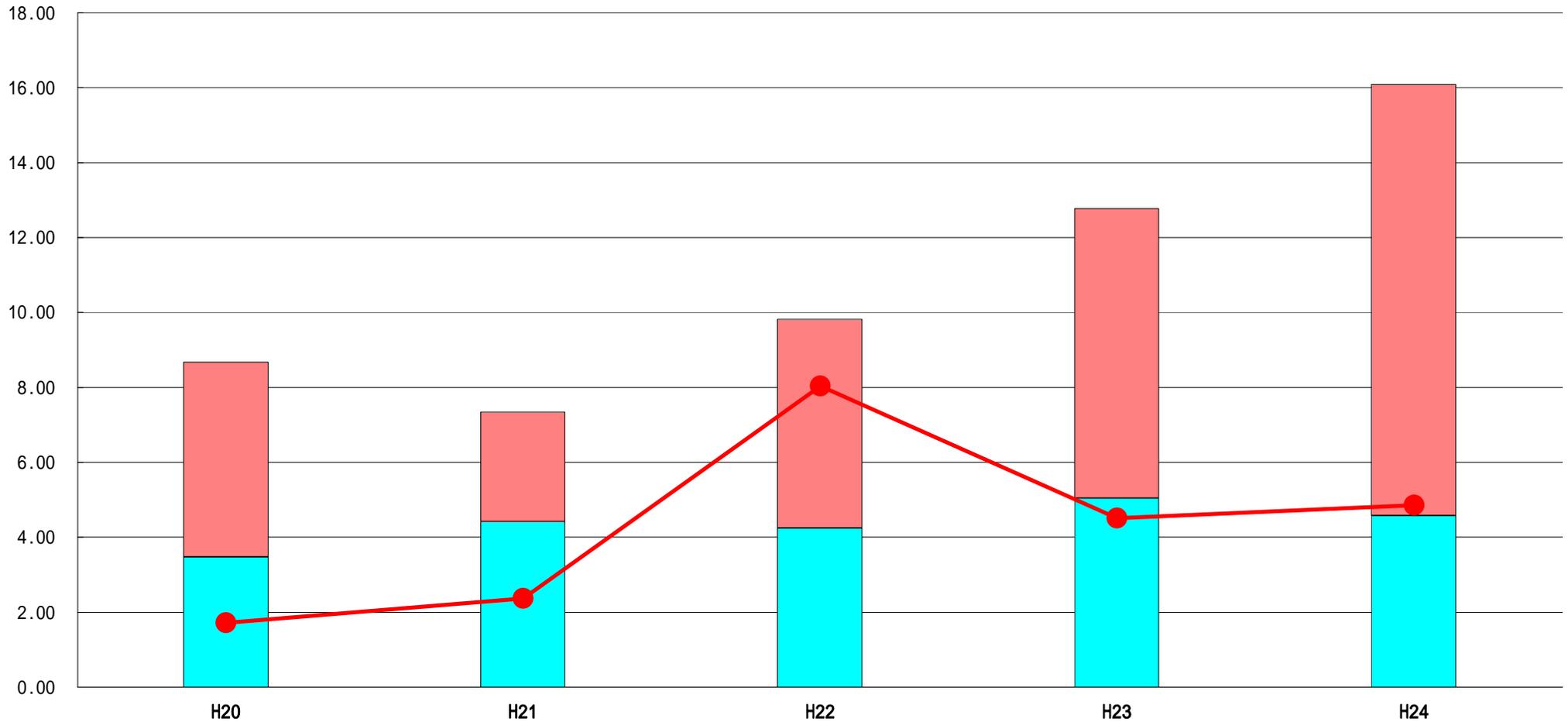
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H20	2,997,434	57,151	37.2	57,376	5.2	32.0
うち単独分	914,331	17,433	70.0	32,650	3.3	66.7
H21	3,351,569	64,383	12.7	70,789	23.4	10.7
うち単独分	1,571,634	30,191	73.2	40,880	25.2	48.0
H22	2,390,303	46,459	27.8	66,876	5.5	22.3
うち単独分	1,261,337	24,516	18.8	36,310	11.2	7.6
H23	2,861,597	56,091	20.7	67,088	0.3	20.4
うち単独分	1,943,721	38,099	55.4	37,146	2.3	53.1
H24	3,673,107	72,578	29.4	70,489	5.1	24.3
うち単独分	2,367,457	46,779	22.8	37,817	1.8	21.0
過去5年間平均	3,054,802	59,332	0.4	66,524	3.6	4.0
うち単独分	1,611,696	31,404	12.5	36,961	3.0	9.5

(5) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

平成24年度

兵庫県南あわじ市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H20	H21	H22	H23	H24
 財政調整基金残高		5.20	2.93	5.58	7.73	11.51
 実質収支額		3.47	4.42	4.24	5.04	4.57
 実質単年度収支		1.71	2.37	8.04	4.51	4.86

分析欄

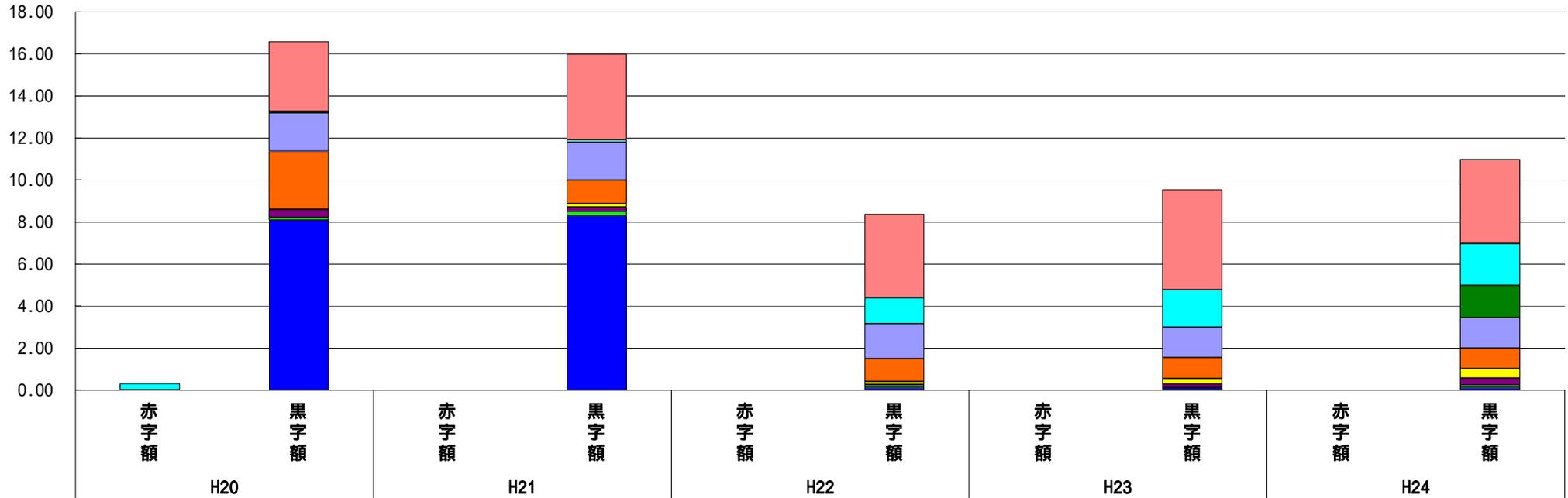
財政調整基金残高は、合併以後平成21年度まで毎年取り崩しを行ってきたことにより標準財政規模比を減少させてきたが、平成22年度以降、取り崩しを行わないことにより割合を増加させてきた。平成24年度も同様に取り崩しを行わず、決算剰余金の一部を積み立てたことにより、割合を3.78ポイント増加させることができた。また、実質単年度収支においては、平成20年度以降は黒字に転じており、平成22年度には13.6億円の黒字となっている。しかし、税収が減収傾向にあることから、今後も引き続き財政計画等に基づき地方債の繰上償還等を計画的に実施し、健全な運営に努めていく必要がある。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

標準財政規模比(%)

平成24年度

兵庫県南あわじ市



標準財政規模比(%)

会計	年度	H20	H21	H22	H23	H24
一般会計		3.31	4.07	3.99	4.77	4.02
国民健康保険特別会計(保険事業勘定)		0.30	0.13	1.23	1.78	1.99
土地開発事業特別会計		0.07	0.00	0.00	0.00	1.54
国民宿舎事業会計		1.82	1.79	1.66	1.44	1.45
下水道事業会計		2.76	1.12	1.09	1.01	0.96
産業廃棄物最終処分事業特別会計		0.03	0.17	0.14	0.26	0.45
介護保険特別会計(保険事業勘定)		0.37	0.22	0.04	0.17	0.35
ケーブルテレビ事業特別会計		0.12	0.18	0.11	0.01	0.11
その他会計(赤字)		-	-	-	0.00	-
その他会計(黒字)		8.09	8.30	0.12	0.10	0.12

分析欄

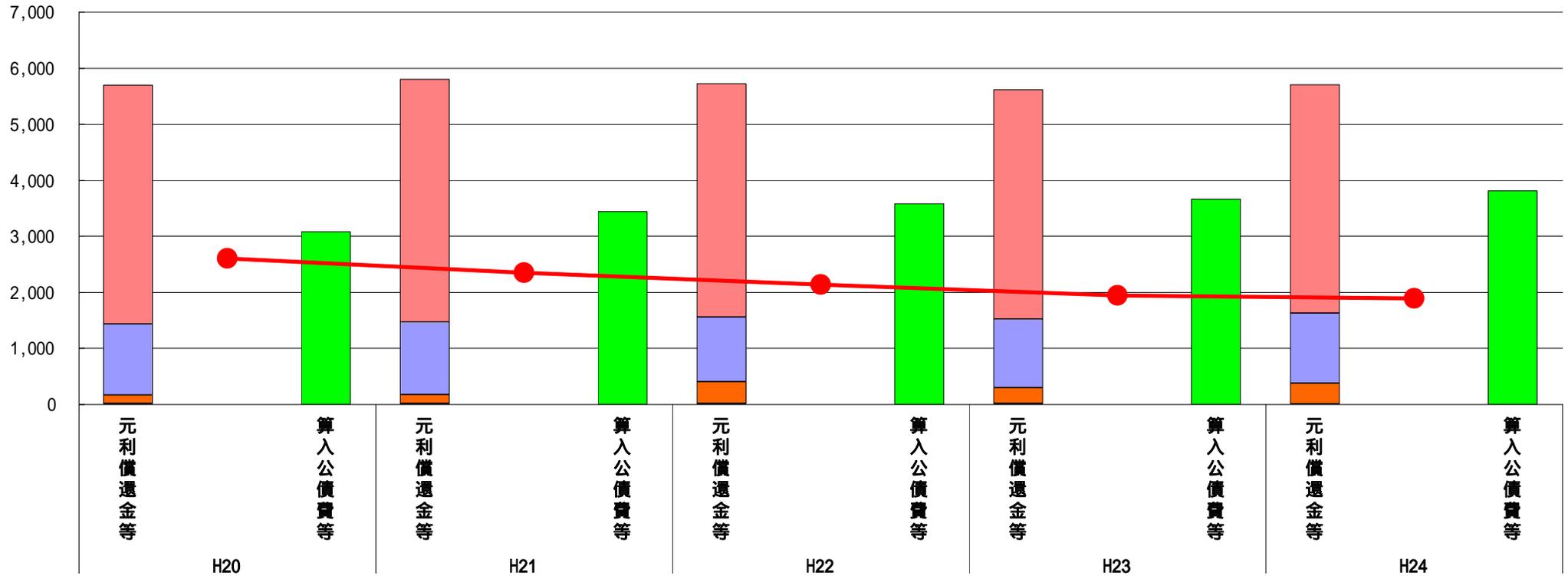
連結実質赤字比率においては、平成20年度に国民健康保険特別会計(補遺兼事業勘定)で赤字を出したものの、以降は全会計において黒字となっている。また全体的な黒字が平成21年度から平成22年度に大幅に減少しているが、これは水道事業を淡路広域水道企業団に移管したことによるものである。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

兵庫県南あわじ市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等(A)	元利償還金		4,257	4,333	4,162	4,093	4,077
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,266	1,291	1,152	1,222	1,247
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		155	162	395	285	366
	債務負担行為に基づく支出額		14	14	14	14	13
	一時借入金の利子		1	1	0	0	0
算入公債費等(B)	算入公債費等		3,083	3,447	3,587	3,665	3,810
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		2,610	2,354	2,136	1,949	1,893

分析欄

実質公債費比率における分子の構成要因では、新規の地方債発行を抑制しながら計画的な繰上償還を実施したことにより元利償還金は減少したものの、下水道事業における過去の大規模投資にかかる元利償還が大きなものとなっていることから公営企業債の元利償還金に対する繰入金が増加している。

また、新規の地方債発行において交付税算入率の高い地方債を選択していることや、100%算入される臨時財政対策債の発行額が大きくなっていることから、算入公債費等についても増加傾向にある。

平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

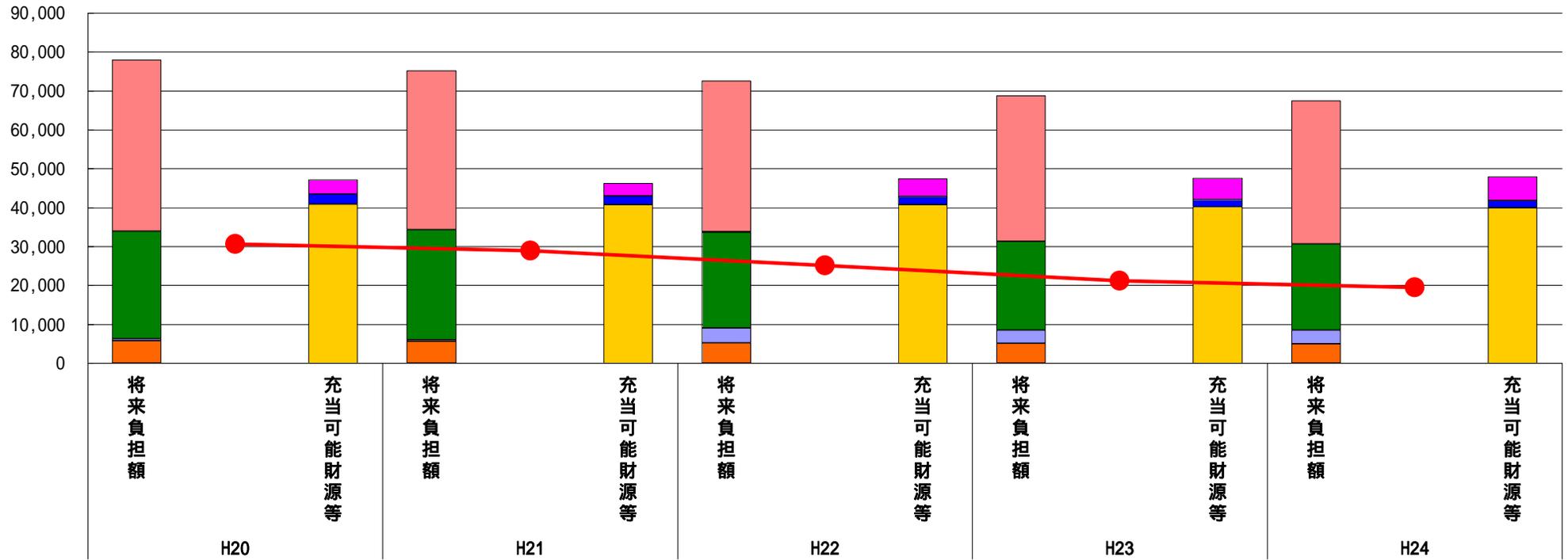
平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率(分子)の構造(市町村)

(百万円)

平成24年度

兵庫県南あわじ市



(百万円)

分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高		43,966	40,869	38,760	37,436	36,797
	債務負担行為に基づく支出予定額		69	56	42	29	16
	公営企業債等繰入見込額		27,586	28,310	24,703	22,829	22,200
	組合等負担等見込額		583	441	3,729	3,396	3,449
	退職手当負担見込額		5,699	5,577	5,298	5,112	5,015
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金		3,668	3,302	4,544	5,584	6,053
	充当可能特定歳入		2,653	2,189	2,088	1,799	1,834
	基準財政需要額算入見込額		40,903	40,784	40,738	40,217	40,015
(A) - (B)	将来負担比率の分子		30,678	28,978	25,163	21,203	19,575

分析欄

実質公債費比率における分子の構成要因では、昨年度に引き続き将来負担額がやや減少、充当可能財源等はほぼ横ばいとなっており、比率を減少させる要因となっている。個別には下水道事業における地方債残高が減少したことにより公営企業債等繰入見込額が減少していることや、一般会計等における地方債の発行抑制及び繰上償還による地方債現在高の減少によって将来負担額が減少し、一方で財政調整基金の取り崩しを行わず、決算剰余金の一部を積み立てたことによる充当可能基金の増によって充当可能財源等が増加していることが挙げられる。

平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。